



1 学力向上プロジェクト論理的思考力

- 豊中スタンダード（豊玉中学校での学びの基本スタイル）の確立を目指した学力向上プロジェクトの3年目が終わり、今年度から次の段階（研究の第2フェーズ）である「論理的思考力の育成」に移行していく。3年間の研究をベースに、学力向上プロジェクトを学びのスキルの習得・活用期と位置付けて「学びの主体者」を育成する。また、課題を整理、分析、解決策を迅速にまとめさせる力を習得させるために、思考ツールの活用を中心とした授業改善を確立し、数値を基に検証を行う。

2 ピア・サポートの確実な全校実施

- 研究の検証を行う中で、ピア・サポートプログラムを活用して学級のリレーションづくり（人間関係づくり）を行うことは、学力向上に欠かせない要素であり、温かい雰囲気醸成しいじめの発生を激減させる結果となった。今年度は、年度当初に重点的にピア・サポートプログラムを確実に全校体制で実施し、全ての生徒が互いの違いを認めつつ、意欲的に学校生活を送れるようにする。

3 プレゼンテーション表現活動の充実

- 10月に実施した「運動会」での集団演技や、11月の「ダンス部・吹奏楽部 校内発表会」での演奏や演技、12月の「校内ダンス発表会」での発表活動を通して、改めて学校行事の大切さと、人間的な成長を促すために不可欠な場であることを痛感した。今年度の指導の重点に「プレゼンテーションや表現する活動の充実」を位置付け、感動することで心の成長を促す機会を充実させる。

4 地域ボランティア活動の充実

- 本校では、地域ボランティア活動が定着し、地域の方から大きな期待と高い評価を得ている。ボランティアへの参加を希望する生徒を対象とした年間登録制度「ボラバンク」や、地域や学校に貢献できる生徒「ボランティア・リーダー」の育成を行っている。コロナ禍の収束も未だに見通せない中で、生徒が主体的に活動できる場面をさらに開発しながら、非対面型の活動を充実させていく。

5 体験に学ぶ「命の授業」の継続実施

- 過去から学ぶことを通して命の尊厳や重みを実感させるために、道徳授業地区公開講座に講師を招聘し、令和元年度から取り組み始めた「命の授業」を継続実施する。今年度は、戦時下の学童疎開の体験者を招き、実体験の話を通して「平和の尊さ」や「生き方」について考えを深めさせる。